

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

ツククサ⑬、キツネノマゴ⑤は園内各所で見られます

ボタンツルが咲いています③

オミナエシが咲いています④

センニンソウが咲いています②

サンシュユの若い実が見られます⑪

クズが咲いています①

ゲンノショウコが咲いています⑩

ミズヒキが見られます⑥

キンミズヒキが見られます⑦

コムラサキの若い実が見られます⑫

ツルボが咲いています⑨

シャリンバイの若い実が見られます⑧



オミナエシ (オミナエシ科) ④
秋の七草の一つです。下池、ススキ草原周辺で見られます。



キツネノマゴ
(キツネノマゴ科) ⑤

数mm程度の小さな花を咲かせる1年草。拡大して観察すると花が美しい形をしているのが分かります。



クズ (マメ科) ①

美しい花を咲かせるツル植物です。他の植物に巻き付いて害を与えます。秋の七草の一つです。



センニンソウ (キンポウゲ科) ②

センニンソウとボタンツルは同じ時期によく似た花を咲かせますが、葉の形が異なります。どちらも有毒です。



ボタンツル (キンポウゲ科) ③



ミズヒキ (タデ科) ⑥

紅色及び黄色の細長い花序が「水引」に似ていることで名付けられました。



キンミズヒキ (バラ科) ⑦



オニヤンマ (オニヤンマ科)

日本最大のトンボで肉食。蛾、はえ、あぶ、蚊、虻、蜂などを空中で捕食します。木にぶら下がりて休憩中です。



シャリンバイの若い実 (バラ科) ⑧

常緑の小高木です。熟すにつれて、実の色が緑色から黒紫色に変化していきます。



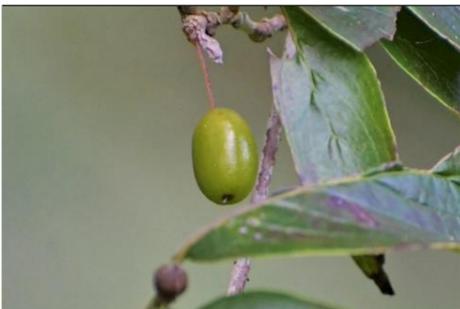
ツルボ (キジカクシ科) ⑨

この時期、花茎が急に伸びて開花します。



ゲンノショウコ (フウロソウ科) ⑩

生薬の一つで、紅紫色の花や白い花を咲かせます。



サンシュユの若い実 (ミズキ科) ⑪

今年は、実の数が少ない目です。今は緑色ですが、もうすぐ真っ赤に熟します。



コムラサキの若い実 (シソ科) ⑫

実が熟し始め、紫色になりつつあるところです。



ツククサ (ツククサ科) ⑬

いたるところに生える一年草です。拡大して見ると青色の花弁、黄色い雄しべなどカラフルで美しい花です。



マクテアカネ (トンボ科)

この写真では分かりませんが、顔に2つの黒い斑模様があり、眉のように見えることが名前の由来です。